

パネルディスカッション

2050年ネットゼロカーボン社会に向けた  
資産運用業のあり方

《パネリスト》（発言順、敬称略）

渋澤 健  
河合 若葉 CMA

《コーディネーター》

神津 多可思 CMA

目 次

1. ネットゼロカーボン社会に向けた資産運用業のあり方
2. 経済的なリターンと社会的価値創造
3. 「インパクト」の定義と評価
4. トランジション・ファイナンス
5. おわりに

1. ネットゼロカーボン社会に向けた  
資産運用業のあり方

神津 2050年ネットゼロカーボン社会に向けて、資産運用業はどうあるべきか、お考えをうかがいたい。

渋澤 ウクライナ情勢が気にかかっている。ウクライナの方々、ロシアの一般の方などの笑顔が一刻も早く戻るように願っている。コロナ禍の影響に加えロシアのウクライナ侵攻を背景に、エネルギー

(各氏略歴<パネルディスカッション開催時>)

渋澤 健 (しぶさわ けん)

シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役、コモنز投信取締役会長。複数の外資系金融機関およびヘッジファンドでマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニーを創業し、代表取締役に就任。2007年にコモنز（現・コモنز投信）を創業、2008年に会長に就任。2021年にブランズウィック・グループのシニアアドバイザーに就任。著書に、『渋沢栄一100の訓言』（日本経済新聞出版、2010年）、ほか。

河合 若葉 (かわい わかば)

野村アセットマネジメント責任投資調査部シニアESGスペシャリスト。国内の投信投資顧問会社、外資系アセットマネジメント会社におけるアジア株の運用業務を経て、2005年野村アセットマネジメントに入社、2009年から2020年3月までシンガポール拠点にてアジア株の運用を担当、2020年4月より現職。

神津 多可思 (こうづ たかし)

日本証券アナリスト協会専務理事。